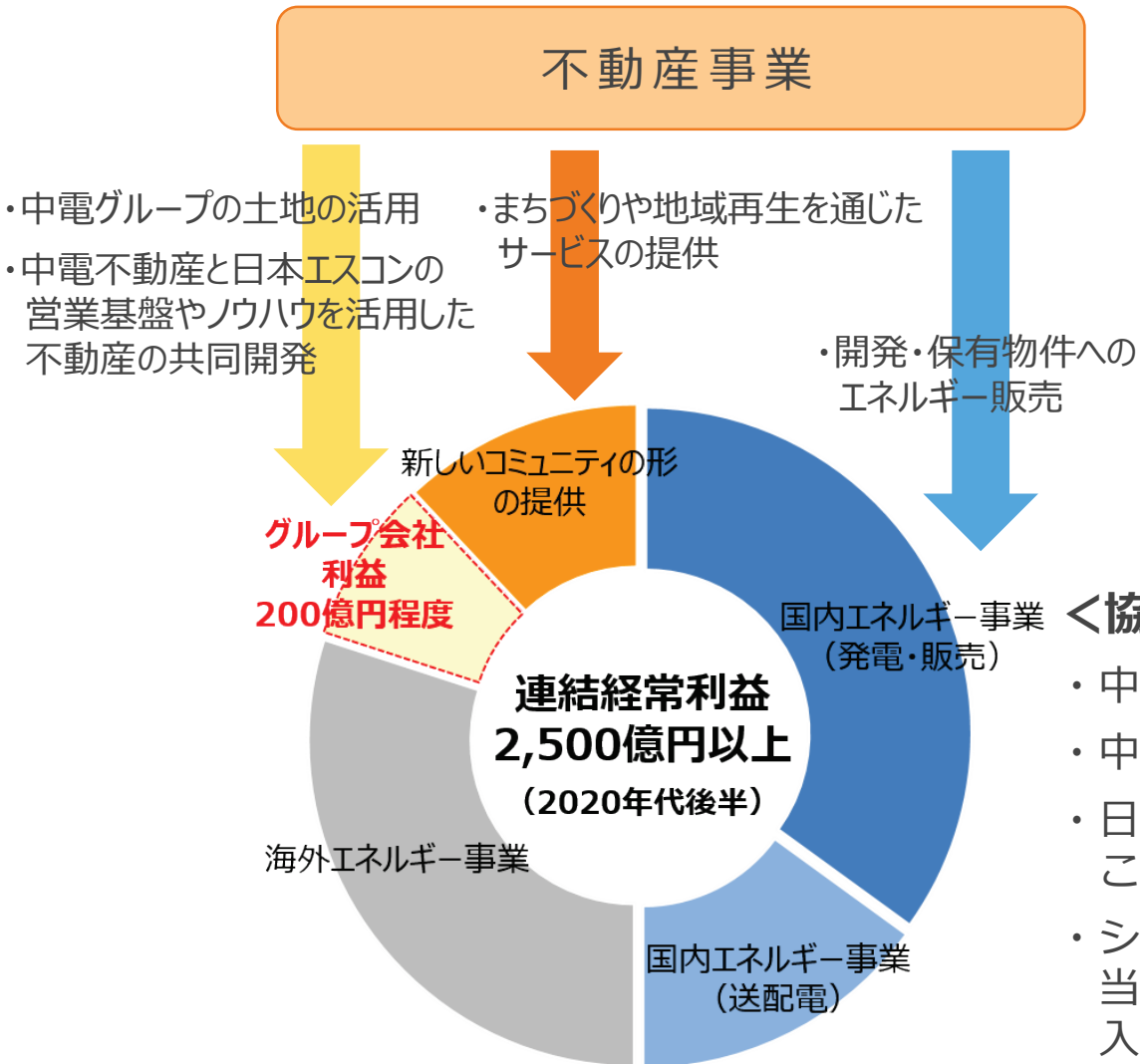


中部電力グループにおける不動産事業の拡大

<経営ビジョンにおける不動産事業の位置づけ>

不動産事業は、グループ会社利益の拡大に加え、エネルギー事業の拡大や新しいコミュニティの形の提供にも寄与することから、将来の収益の柱に育てていく



<不動産事業における新たな目標>

両社の営業利益を

2022年度に1.5倍程度とする

	【2018年度】	【2022年度】
中電不動産	約 16億円	→ 約 25億円
日本エスコン	約115億円	→ 約152億円

<協業の具体例>

- 中電不動産と日本エスコンが相互に要員派遣
- 中電不動産と日本エスコンがマンションを共同開発
- 日本エスコン開発物件を中電不動産が一時取得することで、管理ノウハウの獲得や資金調達の柔軟性を向上
- ショッピングモールや医療・保育施設等の複合開発案件に、当社のコミュニティサポートインフラのサービスを取り入れ、地域のみなさまの安心・快適な暮らしを実現